

<別紙>

【三重県デジタル推進フェロー：メッセージ（計4名）】 ※50音順 ※敬称略

※役職は2023年2月末時点のものです。



▼北野 宏明（きたの ひろあき） / 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長

▽プロフィール

ソニーグループ株式会社 執行役 専務兼 CTO。株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長。株式会社ソニーAI 代表取締役 CEO。特定非営利活動法人システム・バイオロジー研究機構 会長。学校法人沖縄科学技術大学院大学 教授。ロボカップ国際委員

会ファウンディング・プレジデント。国際人工知能学会（IJCAI）会長（2009-2011）。The World Economic Forum（世界経済フォーラム）AI & Robotics Council 委員（2016-2018）、Quantum Computing Council 委員（2019-2020）。Association for the Advancement of Artificial Intelligence（AAAI）フェロー（2021-）。The Computers and Thought Award（1993）、Prix Ars Electronica（2000）、日本文化デザイン賞（日本文化デザインフォーラム）（2001）、ネイチャーメンター賞中堅キャリア賞（2009）受賞。ベネツィア・建築ビエンナーレ、ニューヨーク近代美術館（MoMA）等で招待展示を行う。

▽メッセージ

三重県という自然と歴史・文化に恵まれた地域でのDXに期待するところは大きいです。

誰のためのDXなのか？そのDXで、どれだけ笑顔がふえるのか？

掛け声倒れにならない、三重がより暮らしやすくなり、未来が見えるようなDXが着実に実現されるように微力ながらお力になればと思います。



▼下山 紗代子（しもやま さよこ） / 一般社団法人リンクデータ 代表理事/インフォ・ラウンジ株式会社 取締役/デジタル庁データスペシャリスト/オープンデータ伝道師/総務省 地域情報化アドバイザー/愛媛県・市町 DX 推進専門官（データ利活用担当）/武蔵大学 非常勤講師/Code for Japan フェロー/Code for YOKOHAMA 副代表（CBO）

▽プロフィール

琉球大学理工学研究科海洋自然科学専攻を卒業後、バイオインフォマティクス系ベンチャーに就職。LIMS（ラボ情報管理システム）やゲノムデータ解析手法の開発に従事。2012年には理化学研究所に着任し、生命科学統合データベース構築事業に参画。研究者向けのデータ公開支援システムを開発。2014年に一般社団法人リンクデータを設立。

オープンデータ支援プラットフォーム LinkData.org を運用し、自治体や市民の地域情報発信を支援。2017年にミーカンパニー株式会社にデータスチュワードとして着任し、データ品質管理と精度保証の専門職として、医療施設・介護施設のデータベースのデータモデリング、プロセスモデリング、データ可視化を担当。2018年に取締役としてインフォ・ラウンジ株式会社に加わり、自治体や民間企業のデータ管理・公開基盤の開発におけるコンサルティング・データモデリング・データ可視化を担当。2020年に女性初の政府 CIO 補佐官に就任。2021年にはデジタル庁データスペシャリストとして着任し、データ戦略策定、データ標準化、オープンデータ等を担当するとともに、各府省からの相談に応じデータ整備・データ活用を支援。

▽メッセージ

DXにおいてはいかに「X（トランスフォーメーション、変革）」を起こすかが重要ですが、これまでのやり方や人や組織を変えるには大きな力が必要です。デジタルの力はもちろん、データの力もうまく使って一緒に変えて行きましょう！



▼庄司 昌彦（しょうじ まさひこ） / 武蔵大学社会学部メディア社会学
学科教授 / デジタル庁 オープンデータ伝道師 / 総務省 地域情報
化アドバイザー

▽プロフィール

武蔵大学社会学部メディア社会学科教授、国際大学 GLOCOM 主幹
研究員、東京大学情報学環客員研究員、デジタル庁オープンデータ伝
道師、武蔵学園データサイエンス研究所 所員、総務省「地方自治体
のデジタルトランスフォーメーション推進に係る検討会」座長、総務省「自治体システム等標準化検討
会」座長、千葉県「ICT アドバイザリー会議」座長、仙台市情報アドバイザー、三島市情報戦略アド
バイザー、公益財団法人 情報通信学会 理事

▽メッセージ

情報通信技術と社会のかかわりについて幅広く調査研究をしつつ、政府や全国の地方自治体のお手
伝いをしています。DX は先端技術の活用より、「アナログの改革」を考え、人を幸せにすることにポイン
トがあると思います。よりよい方法を一緒に考えましょう。



▼関 治之（せき はるゆき） / 一般社団法人コード・フォー・ジャパン
代表理事 / デジタル庁シニアエキスパート(シビックテック) / 総務省 地
域情報化アドバイザー

▽プロフィール

住民や行政、企業が共創しながらより良い社会を作るための技術「シビックテック」を日本で推進している他、オープンソース GIS を使ったシステム開発企業、合同会社 Georepublic Japan CEO 及び、企業のオープンイノベーションを支援する株式会社 HackCamp の代表取締役社長も務める。
デジタル庁のシニアエキスパートや神戸市のチーフ・イノベーション・オフィサー、東京都のチーフデジタルサ
ービスフェローなど、行政のオープンガバナンス化やデータ活用、デジタル活用を支援している。

▽メッセージ

市民と行政をつなぎ、IT の技術を活用して地域や社会の課題をともに解決する"シビックテック"の活
動を支援してきました。地域やローカルレベルでデジタルを活用して、あるべき姿をみんなで考えながら街
づくりを、ともに考え、ともに作りたと思います。